

## Ball Glass Monitor Speaker System

# BG031M

### 取扱説明書

このたびは、トムズラボ製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。



- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用の前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、本取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書は別添付

# 安全上のご注意

## 必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。

### ■「警告」と「注意」について

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分けして説明しています。



この表示の欄は、「死亡する可能性  
または重傷を負う可能性が想定される」  
内容です



この表示の欄は、「傷害を負う可能性  
または物的損害が発生する可能性が  
想定される」内容です。



### 分解禁止



分解や改造はしない。  
火災や感電の原因になります。  
修理および調整は弊社もしくは販売店にご相談ください。

### 設置



水がかかる場所や湿気の多い場所に設置し  
ない。  
水の混入により、火災や感電の原因になります。

### 使用上の注意



バスレフポートに異物を入れない。  
火災や感電の原因になります。



### 設置



不安定な場所や振動する場所には設置しない。

禁止

本機が落下して、けがの原因になります。



直射日光の当たる場所や、温度が異常に高  
くなる場所(暖房機のそばなど)には設置しな  
い。

禁止

外装の変色・変形や、内部回路への悪影響が生じて、火災  
の原因になります。



接続する場合は、アンプの電源を切る。

必ず実行

接続方法は、それぞれの機器の取扱説明書に従ってくだ  
さい。

### 移動



移動するときは、アンプの電源スイッチを切り、  
全ての接続コードを外す。  
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。  
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

### 使用上の注意



電源を入れる前や、再生を始める前には、ア  
ンプの音量を最小にする。

必ず実行

突然大きな音が出て、スピーカーの破損の原因になります。



音が歪んだ状態で長時間使用しない。  
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。



キャビネットに硬いものを当てる。  
割れたり破損したりして、けがの原因になります。



キャッシュカード、定期券など、磁気を利用し  
たカード類を近づけない。

スピーカーユニットの磁気の影響でカードが使えなくな  
ることがあります。

### お手入れ



薬物厳禁

ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふか  
ない。また接点復活剤を使用しない。

外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。  
キャビネットをお手入れするときは、市販のクリーニング  
クロス等の柔らかい布で乾拭きするようにしてください。

# 各部の名称と機能



- |   |  |
|---|--|
| ①エンクロージャー<br>ボールガラス製スピーカー<br>キャビネットと木製バッフル板 | ②バスレフポート<br>低音を増強します                         |
| ③プロテクター<br>振動板を保護します                        | ④スピーカーユニット<br>3.5インチ フルレンジスピーカー              |
| ⑤バインディングポスト<br>スピーカーケーブルでアンプ<br>に接続します      | ⑥BGスタンド<br>ボールガラス製スピーカーキャ<br>ビネット専用スピーカースタンド |

## スピーカーの設置

### 専用のスピーカースタンドを使用

同梱されているボールガラス製スピーカーキャビネット用のスピーカースタンド(BGスタンド)を使用して、キャビネットをしっかりと固定します。

### 壁からの距離

壁やコーナーから1m以上離れた場所に設置するのが理想的です。また、家具などの反射物がスピーカーに接近しないように設置することをおすすめします。

### 部屋の定在波

お聴きになる場所によっては、部屋の定在波の影響により、低域にピークやディップを生じる場合があります。一般的に、部屋の中央や隅はその影響が強いことが知られていますので、これらの位置がリスニングポジションにならないような配置で本機を設置してください。

### 正三角形の位置に設置

正確な音像定位や、ステレオ効果を得るために、左右対称、且つ、2個のスピーカーとリスニングポイントの3点で正三角形を作るように設置することをお勧めします。

### 振動板をリスナーの耳の方向に向ける

正確なモニタリングを可能にするために、スピーカーの振動板の方向をリスナーの耳の方向に受けます。

# 本機の特徴

スタジオモニターレベルの音響特性に快適性をプラス  
低音から高音まで滑らかに再生する3.5インチ フルレンジ  
スピーカーを搭載し、音響的に理想的なコンストラクション  
を採用することにより、正確且つ聴き疲れしない快適な  
モニタリング作業を可能にしました。

### 球形キャビネットによる素直な中低音と高い解像力

一般的な平行面を持つスピーカーキャビネットは、内部定在波の発生により、音色に濁りを生じさせ、また、キャビネット表面の広い平面や角部による音響負荷や回折効果によって、中低音域の音圧周波数特性が乱れ、楽器の基音部分に由来する存在感の消失や音色の偏りを生じさせます。これらの要因が無く、最も素直な特性が得られる形状のキャビネットが球形のキャビネットであることが知られています。スピーカー・キャビネットとしてボールガラスを採用することにより、この理想的な球形キャビネットを実現しました。

また、ボールガラスの開口部とバッフル板を強固に接着することにより、ガラス特有の共振を完璧に抑え、濁りの無い高い解像度の音を実現しました。

### ポート構造の「綾」

BG031Mのバスレフポートの共振周波数は通常よりも少し低い周波数に設定され、更にポートの位置はスピーカーユニットの振動板の近くに配置されています。これにより、低音域の空気振動が互いに影響し合い、高いバスレフ効果が得られ、50Hzまで素直に伸びた理想的な低音特性を得ています。

一般的なスピーカーユニットでは、共振周波数を低く設定しすぎると、締まりのない低音になるばかりでなく、中高音の歪も増えてきます。BG031Mに使用しているスピーカーユニットは、大振幅でも歪みにくく設計されており、高い低音再生能力を有しています。

BG031Mはこのユニットの持つ能力をフルに引き出したスピーカーシステムだと言うことが出来ます。

## アンプとの接続

本機の入力端子に接続を始める前に、必ずアンプなどの電源を切ってください。

### 接続について

市販の良質なスピーカーケーブルをご使用ください。本機の赤端子はプラス(+)、黒端子はマイナス(-)です。それぞれのスピーカーの極性(+, -)を間違えると不自然な音になりますので、ご注意ください。

接続する際は、アンプの取扱説明書も合わせて参照してください。

本機の入力端子は、スピーカーケーブルの絶縁被覆を10mm程度はがした芯線、または、バナナプラグで接続できます。なお、芯線差込用の穴の直径は6mmです。

より高音質な再生音を得るために、スピーカーケーブルは必要最小限の長さでご使用ください。

また、芯線は、経年変化により酸化することがあります。その場合は、むき直し、再結線してください。

# 商品仕様

総合仕様	再生周波数帯域	50Hz～18kHz
	許容入力(Mus.)	25W
	定格インピーダンス	8Ω
	出力音圧レベル	86dB
	トータル寸法	φ 250×242mm
	トータル質量	2.2kg
スピーカーアニット	形式	3"防磁型フルレンジ
	ダイアフラム	ポリプロピレンコーン
エンクロージャー	形式	球形2バスレフポート
	ポート共振周波数	60Hz
	寸法	φ 250×226mm
	材質	ガラス、合板
	バッフル・フィニッシュ	ブラック
プロテクター	材質	ステンレス・ワイヤー
バインディングポスト	フィニッシュ	ゴールド
吸音材	材質	コットン

同梱品	BGスタンド、保証書
-----	------------

BGスタンド	材質	合板、合成皮革
	寸法	φ 164×26mm
	フィニッシュ	ブラック



## サービス

本製品の修理の依頼や商品仕様等に関するお問い合わせは、お買い上げ店、またはTom's labまでご連絡ください。

### ■保証期間

お買い上げ日から1年間です。

### ■保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### ■保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

■修理料金の内訳：技術料 部品代 出張料

Tom's lab  
〒431-2103  
浜松市北区新都田1-3-3-1 MIC B-3  
TEL : 053-523-6016  
E-MAIL : info@tomslab.jp  
HP : <http://www.tomslab.jp/>